

株式会社ファミリーマート 御中

ベトナム社会主義共和国
ホーチミン市カンザオ区における防災・気候変
動対応能力強化事業

第2四半期報告書



2015年11月
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン



1. 事業概要

事業名	ホーチミン市カンザオ区における防災・気候変動対応能力強化事業
対象国・地域	ベトナム ホーチミン市 カンザオ区
事業期間	2015年5月1日～2016年4月30日
報告期間	2015年8月1日～2015年10月31日
予算	7,500,000円
受益者	5歳～14歳の子ども3,340名及び5,000名の地域住民
事業目的	最貧困層の少数民族の災害対応、気候変動対応能力を向上させる。

<選定校一覧>

コミュニティ名	学校名	生徒数
Binh Khanh	Binh Khanh Secondary School	1,203人
Long Hoa	Long Hoa Secondary School	655人
Binh Khanh	Binh Phuoc Primary school	416人
An Thoi Dong	An Thoi Dong Primary school	754人
Long Hoa	Long Thanh Primary school	312人
合計		3,340人

2. 活動進捗

活動1. 生徒と教師の防災意識向上による安全な学校づくり

1-1. 学校及びコミュニティへの防災ガイドブックやマニュアルの配布

当報告期間に、計3つの視覚教材の作成を行いました。ベトナムでは、災害時に子どもが水に溺れる事故が多いことから、事故防止のための啓発ポスターを2種類作成しました。一つ目が子どもを対象にしたポスターで、子どもが溺れないためにすべき事、してはいけない事が記されているもの、二つ目が大人を対象にした啓発ポスターで、子どもが溺れないために大人がすべき事、するべきでない事を記したものです。ポスターに加えて、「青蛙と気候変動」という名前の絵本を作成しました。この絵本は、子どもに、災害リスクを軽減させるために環境を守ることの重要性を訴える内容となっており、「環境を守るためにもっと木を植えましょう」、「動物を保存しましょう」、「グリーンエネルギー¹を利用しましょう」というメッセージが組み込まれています。当報告期間内に、啓発ポスター2,150枚（大人向け2,000枚、子ども向け150枚）と絵本1,500冊の印刷を完了し、既に子ども向け啓発ポスター及び絵本の配布を終了しました。150枚の子ども向けポスターは対象校の掲示板や教室に張り出され、絵本は、5つの対象校の子どもクラブ、図書室に設置するほか、3年生～8年生の子どもたちに配布されました。絵本の配布を受けた子どもたちは、熱心に読んでおり、「日々の小さなことでも環境を守ることに繋がることが分かった」、「私たちでもでき

¹ バイオマスなど廃棄物を出さない環境に優しいエネルギーのこと。

ることがあることが分かった」、「本からの知識をお母さんに伝えたい」といった声が聞かれました。大人向けの啓発ポスターは 12 月の初めにかけて対象コミュニティ（Binh Khanh、Long Hoa、An Tohi Dong の 3 コミュニティ）の子どもがいる各世帯を中心に配布される予定となっています。

作成した視覚教材



子どもが溺れることを防止する大人向け啓発ポスター

子どもが溺れることを防止する子ども向け啓発ポスター

子ども向け教材「青蛙と気候変動」

1.5 子どものための着衣水泳教室の実施及びプールの水質管理計画の作成

9月30日に、昨年に水泳教室を実施したニャーベー区の Hiep Phuoc 中学校、Nguyen Van Tao 小学校各学校の教職員が、今年の対象校である学校の教職員を対象に、実施方法やプールの管理方法、事業の実施、教訓の共有を行いました。

活動 2. 少数民族及び貧困世帯における災害及び気候変動の耐久性の強化

2-1. 行政との連携確立・強化のための定期会合

関係者を集め、事業の計画を共有し、今後の方向性を話し合うための事業立ち上げ会議を 9月30日に実施しました。郡の教育訓練局や経済部、郡赤十字、対象各学校の学校長、コミュニティの教育課など各方面から総勢 21 名の関係者が集まりました。会議では当事業を支援して下さっているファミリーマートについての説明、事業活動の詳細の報告、そして防災や気候変動の基本知識の講義がセーブ・ザ・チルドレンの防災・気候変動担当職員によって行われました。第 1 四半期報告書で報告している通り、現在まだホーチミン市人民委員会からの承認取り付けを待っている段階であり、活動 2 の土台になるコミュニティレベルのリスク調査はまだできていませんが、今回の事業立ち上げ会議で、当事業の関係者全てがこのリスク調査の重要性についても認識を新たにすることができ、今後の活動実施に対する意欲を見せていました。

3. 現在の課題および変更点

■ホーチミン市からの事業承認取り付けの遅延

第1 四半期報告書で報告した通り、郡の人民委員会からの事業承認取り付けは既に終了したものの、ホーチミン市の人民委員会からの事業承認取り付けがまだ終了しておりません。同市の人民委員会への許可申請は郡の人民委員会が行うのが通常の手続きですが、事業承認を出来るだけ迅速に行うため、当会のスタッフも、ホーチミン市の計画投資局と定期的に会合をもつなど調整を続けています。正式な事業の承認許可が下りていないため、学校及びコミュン内での活動の実施が遅れておりますが、後半、事業の遅れを取り戻すように努力をしていく予定です。

■スイミングプール

水泳教室の準備を進めていますが、カンザオ区の学校ではまだプール設置に必要なフェンス及び屋根の準備が整っていないため、プールは使用できていない状況にあり、プール1基は、Long Than 小学校²に保管されています。

昨年の事業完了報告書でご報告した通り、当初計画では、地域の自助努力により地元で入手できる木材等を使って、フェンス、屋根を設置することを計画しておりましたが、市の方針により、学校敷地内で、授業として使用する施設は、教育訓練局の基準にそった資材を使う必要があることが分かりました。フェンス、屋根なしで水泳教室を行うことも教育訓練局と検討しましたが、フェンス及び屋根がない場合、木の葉やゴミ、家畜などが入ってくる可能性があるため、水の質を保つためにも設置は必要と判断しました。地域の自助努力でなく、教育訓練局の予算によって設置するため、教育訓練局は、フェンス及び屋根を設置する資金捻出に奔走しております。12 月第1週に、その結果を受け、今後の計画を協議する予定です。

4. 今後の活動予定

活動1. 生徒と教師の防災意識向上による安全な学校づくり

- 1.2 教員及び生徒への安全な学校モデルの普及
- 1.3 防災子どもクラブの設置及びクラブを通じた防災への子ども参加の推進
- 1.4 安全な学校のための環境整備の実施
- 1.5 子どもへの着衣水泳教室の実施及びプールの水質管理計画の作成
- 1.6 子どもから保護者への災害リスク軽減のための知識及び技術の伝達

活動2. 少数民族及び貧困世帯における災害普及及び気候変動の耐久性の強化

- 2.2 コミュニティーにおける災害及び気候変動影響リスク調査の実施
- 2.3 少数民族及び貧困世帯に対する災害に強い生業研修の実施
- 2.4 少数民族及び貧困世帯への災害に強い生業の実践

² 昨年度事業の対象校。昨年度はカンザオ区において水泳教室ができなかったため、活動を繰り越しており、本年度昨年度の対象校においても水泳教室を行う予定。

5. 活動写真



事業立ち上げ会議の様子



カンザオ省の教育訓練局長も出席しました



立ち上げ会議時のグループディスカッションの様子



子ども向け教材の絵本を読む子どもたち